

第2号報告資料

令和7年度事業報告書

(令和7年2月1日から令和8年1月31日まで)

- ①会員の研究発表会，学術講演会等の開催（定款第4条第1号）
- ・第125回日本外科学会定期学術集会を開催し，会期後にWebでアーカイブ配信を行った。
 - ・外科系サブスペシャルティ学会に学術集会のあり方についてのアンケートを行った。
 - ・「日本外科学会学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針」として，日本医学会連合研究倫理審査委員会の「学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針」を活用した。
- ②機関誌，論文図書等の刊行（定款第4条第2号）
- ・学会誌「日本外科学会雑誌」を奇数月に電子ジャーナルとして発行し，希望により配本した。
 - ・日本外科学会雑誌の過去分のアーカイブ化を進めた。
 - ・Official Journal「Surgery Today」を毎月電子ジャーナルとして発行した。
 - ・契約期間満了に伴い，「Surgery Today」の出版委託会社の選考を行った。
 - ・Case Report誌「Surgical Case Reports」を毎月電子ジャーナルとして発行した。
 - ・外科専門医予備試験の過去問題集を書籍化し，発刊した。
- ③内外の関係学術団体との連絡及び提携（定款第4条第3号）
- ・German Surgical Society (GSS)，American College of Surgeons (ACS)，Society of University Surgeons (SUS)，College of Surgeons of East, Central and Southern Africa (COSECSA)，The Association of Surgeons of India (ASI)などと持続可能な学術交流を行い，若手外科医の交換発表などを行った。
 - ・新たに韓国外科学会および台湾外科学会，イタリア外科学会との交流を開始した。
 - ・ACSのClinical Congressの会期中に，ACS日本支部と情報交換会を共催した。
 - ・Royal College of Surgeons England (RCS)とInternational Surgical Training Programme (ISTP)のPartner Institutionについて保留とした。
 - ・日本医学会，日本医学会連合，日本医療機能評価機構，日本女性外科医会の活動に積極的に参画した。
 - ・外科系18学会と外科関連学会協議会を組織して，外科系の横断的な諸問題を協働で検討した。
- ④外科学に関する研究及び調査（定款第4条第4号）
- ・標準手術ビデオを5本作成し，「標準手術シリーズ」としてビデオライブラリーに収載した。
 - ・「外科臨床研究の利益相反に関する指針」に基づき，該当者から利益相反自己申告書を回収した。
 - ・「外科学用語集」の改訂を行った。
 - ・遠隔手術の社会実装に向けた研究を行った。

⑤外科専門医の育成と専門医制度の運用（定款第4条第5号）

- ・日本専門医機構との業務契約の下、「外科領域専門研修プログラム」を審査し、専攻医の研修登録を行い、専攻医の研修状況を管理した。
- ・日本専門医機構と協働して、専門医共通講習および外科領域講習を開催する（eラーニングを含む）と共に、関連学会が開催する専門医共通講習および外科領域講習について審査を行った。
- ・日本専門医機構と協議の上で、外科専門医の更新要件および連動更新の運用について、外科系サブスペシャルティ学会と共に検討した。
- ・外科専門医制度および日本専門医機構との契約に則り、外科専門医を認定し、指導医を選定し、認定登録医を登録した。
- ・外科専門医の筆記試験（予備試験）をCBT方式で実施し、認定試験を文書審査によって実施した。
- ・外傷講習会をeラーニングで配信し、また、日本外傷診療研究機構、日本 Acute Care Surgery 学会、日本腹部救急医学会、日本外傷学会などの協力を得て、専攻医の外傷の修練を強化した。
- ・外科総論に関するeラーニングを配信した。

⑥研究の奨励と優秀な業績の表彰（定款第4条第6号）

- ・Surgery Today の優秀論文賞（Best Surgery Today Award）を表彰した（7名）。
- ・Surgery Today の Citation Award を表彰した（6名）。
- ・Surgery Today と Surgical Case Reports のそれぞれの Best Reviewer Award を表彰した（Surgery Today：令和6年対象8名、令和7年対象5名/Surgical Case Reports：令和6年対象9名、令和7年対象5名）。
- ・「日本外科学会臨床研究助成」（JSS Clinical Investigation Project Award）を選考し、補助金を支給した（1名）。
- ・「若手外科医のための臨床研究助成」（JSS Young Researcher Award）を選考し、補助金を支給した（臨床研究部門：3名/基礎研究部門：5名）。
- ・National Clinical Database（NCD）を活用した臨床研究の助成を検討すると共に、複数領域に跨るNCDデータを利活用した臨床研究を行う場合の調整窓口を務めた。

⑦生涯学習活動の推進（定款第4条第7号）

- ・eラーニングのシステムの共同利用を外科系サブスペシャルティ学会と検討した。
- ・若手医師向けに外科の基礎的な教育ビデオ（スキマ動画）を配信した。

⑧外科診療に関する情報や指針の提供（定款第4条第8号）

- ・National Clinical Database（NCD）に参加し、外科症例登録のデータベース事業に協力した。
- ・関連学会と協働して、「臨床医学の教育研究における死体解剖のガイドライン（Guidelines for Cadaver Dissection in Education and Research of Clinical Medicine）」に基づく Cadaver Surgical Training（CST）の普及を図ると共に、CSTを統括するための新たな法人の設立を検討した。

- ・大規模イベントやマスギャザリングに外傷外科チームを派遣する TSAT (Trauma Surgical Assistant Team) の活動要領を作成し、派遣研修を行った。

⑨国民に対する外科医療の情報提供の啓発（定款第 4 条第 9 号）

- ・広報活動として、参加体験型の市民講座「オベスル」を開催し、医学生や研修医にファシリテーターとして参加してもらった。
- ・公式 SNS で周知・広報活動を行った。

⑩医療政策に関する建議（定款第 4 条第 10 号）

- ・外科系学会社会保険委員会連合（外保連）に参加し、外科技術料に関する適正な診療報酬についての調査収集と、その結果を元にした関係官庁などへの要望書提出に協力した。
- ・「医療事故調査・支援センター」（日本医療安全調査機構）の支援団体として、死因の調査分析事業に協力した。
- ・「学会認定・臨床輸血看護師制度協議会」に協力した。
- ・「特定行為に係る看護師の研修制度」を支援し、外科医の労働環境の改善に向けたタスクシフトの普及を図ると共に、厚生労働省の医師の働き方改革における集中的技能水準（C-2 水準）の審査に協力した。
- ・NCD データを基に、新たな外科の医療提供体制について検討した。

⑪その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第 4 条第 11 号）

- ・代議員の選任を行った。
- ・会員管理システムのリプレースを行った。
- ・健全な資産運用を開始した。
- ・医学生や研修医のリクルートを目的とした Future Surgeons Club (FSC) の検討を行った。
- ・日本外科学会のブランディング化を検討した。
- ・「日本外科学会」などの商標を登録した。

令和7年度事業報告 附属明細書

①会員の研究発表会，学術講演会等の開催の明細

・第125回日本外科学会定期学術集会の明細

日時：令和7年4月10日～12日（アーカイブ配信：5月上旬～7月31日）

場所：仙台国際センター 他（宮城県仙台市）

参加者数：17,405名 演題数：3,732題

テーマ：「楽しい外科学—The Fascination World of Surgical—手術が楽しいッ！臨床が楽しいッ！研究が楽しいッ！」

②機関誌，論文図書等の刊行の明細

・学会誌「日本外科学会雑誌」の発行の明細

発行年月日	巻	号	発行部数
令和7年 3月1日	126	2	9,680
令和7年 5月1日	126	3	10,000
令和7年 7月1日	126	4	9,970
令和7年 9月1日	126	5	10,110
令和7年 11月1日	126	6	10,170
令和8年 1月1日	127	1	10,260

・Official Journal「Surgery Today」の発行の明細

発行年月日	巻	号
令和7年 2月1日	55	2
令和7年 3月1日	55	3
令和7年 4月1日	55	4
令和7年 5月1日	55	5
令和7年 6月1日	55	6
令和7年 7月1日	55	7
令和7年 8月1日	55	8
令和7年 9月1日	55	9
令和7年 10月1日	55	10
令和7年 11月1日	55	11
令和7年 12月1日	55	12
令和8年 1月1日	56	1

・Case Report 誌「Surgical Case Reports」の発行の明細

発行年月日	巻
令和7年 2月1日	10
令和7年 3月1日	10
令和7年 4月1日	10
令和7年 5月1日	10
令和7年 6月1日	10
令和7年 7月1日	10

令和7年 8月1日	10
令和7年 9月1日	10
令和7年 10月1日	10
令和7年 11月1日	10
令和7年 12月1日	10
令和8年 1月1日	11

③内外の関係学術団体との連絡及び提携の明細
特になし

④外科学に関する研究及び調査の明細

・標準手術ビデオの作成の明細（5名）

長谷川 潔（東京大学大学院肝胆膵外科・人工臓器移植外科学）

「主要肝静脈・下大静脈再建を伴う肝切除」

志水 秀行（慶應義塾大学医学部心臓血管外科）

「一体型デバイスを用いた FET 併用全弓部大動脈置換術（TAR-FET）」

亀井 尚（東北大学大学院消化器外科学）

「食道癌困難症例に対するロボット支援食道切除術の戦略と手技—剥離層の見極めと安全な展開の工夫—」

尾藤 祐子（神戸大学大学院小児外科学）

「小児声門下腔狭窄症に対する前方後方輪状甲状軟骨切開術（APC split）～治療戦略の位置づけと手術の工夫～」

新谷 康（大阪大学呼吸器外科）

「Hemi-clamshell アプローチによる悪性縦隔腫瘍手術」

⑤外科専門医の育成と専門医制度の運用の明細

・外科専門医の認定総数：25,568名（うち日本専門医機構認定：3,705名）

・外科専門医の新規認定：688名（うち日本専門医機構新規認定：658名）

・外科専門医の更新：3,829名（通常更新：2,023名，サブスペシャリティとの連動更新：1,806名）

・認定登録医の移行：261名（外科専門医→認定登録医）

・外科専門医の特例更新：51名

・外科専門医の特例更新（認定登録医への移行）：26名

・認定登録医の特例更新：16名

・外科専門医の移行：22名（認定登録医→外科専門医）

・認定登録医の更新：332名

・指導医の選定：356名

・指導医の更新：1,187名

・指導医の再選定：36名

・指定施設の指定：1,169施設

・関連施設の指定：949施設

⑥研究の奨励と優秀な業績の表彰の明細

・Surgery Today の優秀論文賞 (Best Surgery Today Award) の明細 (7名)

一般・小児：小池 勇樹 (三重大学医学部附属病院)

「Promoter methylation levels of microRNA-124 in non-neoplastic rectal mucosa as a potential biomarker for ulcerative colitis-associated colorectal cancer in pediatric-onset patients」

上部消化管：本告 正明 (大阪急性期・総合医療センター)

「Prognostic factors and significance of postoperative adjuvant chemotherapy in patients with advanced gastric cancer undergoing neoadjuvant chemotherapy followed by gastrectomy」

下部消化管：近谷 賢一 (埼玉医科大学・総合医療センター)

「Risk of metachronous colorectal cancer after surgical resection of index rectal cancer in Lynch syndrome : a multicenter retrospective study in Japan」

呼吸器：田根 慎也 (神戸大学病院)

「Clinical outcomes of left upper segmentectomy vs. lobectomy for early non-small-cell lung cancer : a nationwide database study in Japan」

乳腺・甲状腺：野口 昌邦 (金沢医科大学)

「Oncoplastic breast surgery to prevent “Bird’s beak” deformity in the breast : a comparative retrospective study」

心臓血管：柚木 純二 (佐賀大学)

「The comparison of the clinical outcomes and costs between surgical aortic valve replacement and transcatheter aortic valve implantation based on the Japanese Diagnosis Procedure Combination database」

肝胆膵・移植：藤井 武宏 (三重大学)

「Radiomics-based prediction of nonalcoholic fatty liver disease following pancreatoduodenectomy」

・Surgery Today の Citation Award の明細 (6名)

谷合 智彦 (東京慈恵会医科大学外科学講座)

「Osteosarcopenia predicts poor prognosis for patients with intrahepatic cholangiocarcinoma after hepatic resection」

佐藤 駿 (獨協医科大学)

「The preoperative pan-immune-inflammation value is a novel prognostic predictor for with stage I-III colorectal cancer patients undergoing surgery」

山道 堯 (がん研究会有明病院)

「Impact of postoperative complications on the long-term outcome in lung cancer surgery」

並川 努 (高知大学医学部臨床看護学講座)

「Frequency and prognostic impact of cachexia during drug treatment for unresectable advanced gastric cancer patients」

佐藤龍一郎 (宮城県立がんセンター)

「A decreased preoperative platelet-to-lymphocyte ratio, systemic immune-inflamma-

tion index, and pan-immune-inflammation value are associated with the poorer survival of patients with a stent inserted as a bridge to curative surgery for obstructive colorectal cancer」

高見 秀樹（名古屋大学医学部附属病院）

「The shortage of surgeons in Japan : Results of an online survey of qualified teaching hospitals that take part in the surgical training programs for board certification by the Japan Surgical Society」

- Surgery Today の Best Reviewer Award の明細（令和6年対象8名）

庄司 佳晃（東海大学医学部消化器外科学）

古川 賢英（東京慈恵会医科大学附属病院）

山口 智弘（がん研究会有明病院消化器センター大腸外科）

副島 雄二（信州大学医学部外科学教室消化器・移植・小児外科学分野）

掛地 吉弘（神戸大学食道胃腸外科学）

川合 一茂（東京都立駒込病院）

本山 悟（日本赤十字社秋田赤十字病院）

吉屋 匠平（大分赤十字病院）

- Surgery Today の Best Reviewer Award の明細（令和7年対象5名）

川副 徹郎（九州大学病院消化器・総合外科）

伊勢田憲史（九州大学病院）

家入 里志（鹿児島大学病院）

富野 高広（九州がんセンター）

安藤 幸滋（九州大学病院消化管外科（2））

- Surgical Case Reports の Best Reviewer Award の明細（令和6年対象9名）

有上 貴明（鹿児島大学消化器外科学）

加藤 毅人（名古屋大学医学部附属病院）

中村 彰太（名古屋大学医学部附属病院）

古屋 欽司（筑波大学附属病院）

山本 博崇（聖隷浜松病院）

岡野 圭一（香川大学消化器外科）

金高 賢悟（長崎大学大学院移植・消化器外科）

窪田 健（京都府立医科大学消化器外科）

有田 智洋（京都府立医科大学消化器外科）

- Surgical Case Reports の Best Reviewer Award の明細（令和7年対象5名）

杉町 圭史（国立病院機構九州がんセンター肝胆膵外科）

西別府敬士（京都府立医科大学消化器外科）

蛭川 浩史（立川総合病院）

中村 龍二（名古屋市立大学病院）

貝田佐知子（滋賀医科大学附属病院）

- 「日本外科学会臨床研究助成」(JSS Clinical Investigation Project Award) の授賞者の明細（1名）

調 憲（群馬大学大学院総合外科学講座肝胆膵外科学分野）

「予定残肝容積増大のための門脈塞栓術に併用する肝静脈塞栓術の安全性と有効性を検証する多施設共同臨床試験」

- ・「若手外科医のための臨床研究助成」(JSS Young Researcher Award) の授賞者の明細 (8名)

〈臨床研究部門〉 (3名)

中堤 啓太 (東京科学大学救急災害医学分野)

「Acute Care Surgery 診療体制の整備が、緊急一般外科手術症例の予後と外科医の働き方に与える影響の検討」

産本 陽平 (筑波大学小児外科)

「内視鏡外科技術認定取得者の参画が小児高難度内視鏡手術の治療成績に与える影響の検討—National Clinical Database を基盤とした実態解析」

豊田 真帆 (札幌医科大学外科学講座消化器外科学分野)

「直腸癌における自律神経温存手術クオリティの新規評価方法の開発～部分環状切開法による直腸検体を用いて～」

〈基礎研究部門〉 (5名)

森田 覚 (慶應義塾大学医学部外科学教室 (一般・消化器))

「肝臓背景組織の空間免疫設計図と再発予測モデリング」

矢野 圭輔 (鹿児島大学小児外科)

「小児短腸症候群に起因する腸管不全関連肝障害に対するアルゴンガス吸入の治療効果—モデル動物を用いた作用機序の解明—」

藤林 祐介 (神戸大学大学院医学研究科外科学講座呼吸器外科学分野)

「患者由来新規 in vivo モデルによる EGFR 変異陽性肺癌の耐性機構解明と克服」

鶴田 覚 (弘前大学消化器外科学講座)

「腫瘍間質内在オルガノイドを用いた糖尿病治療薬による膵癌間質クロストークの分子基盤解明と治療抵抗性制御戦略の構築」

柳谷 昌弘 (東京大学医学部附属病院呼吸器外科)

「KRT5+/p63+ 気道上皮幹細胞を用いた難治性肺癆の新規治療法開発」

⑦生涯学習活動の推進の明細

特になし

⑧外科診療に関する情報や指針の提供の明細

特になし

⑨国民に対する外科医療の情報提供の啓発の明細

- ・第51回市民講座「オベスル」の明細

開催日：令和7年9月28日(日)

会場：日本科学未来館(東京都)

参加者数：1,270名

テーマ：「～まだ知らない“自分の夢”と出会う場所～」

⑩医療政策に関する建議の明細

特になし

⑪その他前条の目的を達成するために必要な事業の明細

特になし